



インドネシア ジャワ島の文化に触れる
ワークショップ 「ジャワ・ガムラン」 「ジャワ舞踊」 「ワヤン人形作り」



ジャワ島のガムラン入門



ジャワ舞踊～入門編～



影絵人形 ワヤンを作ろう！



今年の夏の最後は、インドネシア・ジャワ島の文化を体験するワークショップを開催しました。講師には人形遣いのローフィット・イブラヒムさん、ガムラン奏者の佐々木宏実さん、ジャワ舞踊家の西岡美緒さんをお迎えしました。

8月29日(金)はガムランの実技入門編。ガムランは青銅製の打楽器を中心としたアンサンブルで、数人で演奏することもあります。ワークショップには20名が参加し、楽器を交代しながら1曲仕上げました。3時間という長時間のワークショップでしたが、演奏に集中しているとあっという間に過ぎてしまいました。ガムランの荘厳な音色に包まれ、インドネシアの風を感じられるひとときでした。

8月30日(土)の午前はジャワ舞踊の入門編を開催しました。宮廷で育まれた、優雅でゆったりとした踊りです。王宮のお祝い事や賓客のおもてなしの際に、舞踊家や王家の人々によって踊られてきました。今回はジャワ舞踊の中でも、古都ジョグジャカルタの舞踊を教えてくださいました。始めにDVDで映像を鑑賞後、ジャワ舞踊の基本の動作を教えてくださいました。手や指の角度、体や足の動かし方など、1つずつ丁寧に習得していき、最後に「サリクスモ」というジャワ舞踊の練習曲を1曲、ガムランの生演奏の伴奏で踊りきることができました。

同日の午後にはワヤン人形を作るワークショップを

開催しました。ワヤン人形は、ワヤン・クリという影絵人形芝居に使われる人形です。ワヤン・クリはユネスコの世界無形文化遺産に指定され、ガムランを伴奏に演じられます。本来のワヤン人形は水牛の皮と角で作られていますが、今回のワークショップではボール紙と竹で作りました。「ラーマヤナ物語」に登場する、ラーマ王子やシータ姫など人形の型が印刷されたボール紙を1つ選び、親子で作りました。最後に出来上がった人形を使って子どもたちがラーマヤナ物語を上演しました。佐々木先生のナレーションに合わせて子どもたちが一生懸命、役になりきっている姿が印象的でした。

どのワークショップも人気が高く、また開催して欲しいとの声をたくさんいただきました。他では味わえない、インドネシア・ジャワ島の文化を存分に楽しめるワークショップとなりました。

「インドネシア ジャワ島のガムラン入門」
 日時：平成26年8月29日(金) 18:30～21:30
 会場：楽器博物館展示室
 講師：ハナジョス(ローフィット・イブラヒム、佐々木宏実、西岡美緒)
 参加者：20人

「インドネシアのジャワ舞踊～入門編～」
 日時：平成26年8月30日(土) 9:30～12:00
 会場：研修交流センター 講師：西岡美緒 参加者：15人

「インドネシアの影絵人形 ワヤンを作ろう！」
 日時：平成26年8月30日(土) 13:30～16:30
 会場：研修交流センター
 講師：ハナジョス(ローフィット・イブラヒム、佐々木宏実)
 参加者：16組33人

特別展 バグパイプ博覧会パート2

「風に歌う、風に響く～バグパイプの世界～」終了！



ユニークな吊り下げ式展示

8月2日（土）から31日（日）まで開催されていたバグパイプの特別展が終わりました。会期中にはのべ16,000人程のお客様が展示やコンサートを楽しみました。

バグパイプは皮袋（バッグ）に貯めた空気です（パイプ）を鳴らす素朴な楽器で、紀元前5世紀頃から存在していたと言われます。東はインドから西は中近東、北アフリカ、全ヨーロッパに広く見られ、農民や羊飼、放浪楽士など民衆の楽器です。この特別展は2010年に開催した「バグパイプ博覧会」の続編で、今回も世界各地のバグパイプが見られる展示部門と、コンサートやワークショップ、作家ブースというイベント部門の2部門で構成されました。

バグパイプは皮袋に数本の管が付いた楽器です。管の部分は木製の笛ですからシャキッとしているのですが、皮袋はその名の通り皮ですからフニャフニャです。空気を入れてふくらますと、張りが出てシャキッとしますし、袋から出ている管もピンと立つのですが、空気の入っていない状態では袋はペシャンコで、管もブラブラして、なかなか演奏している時の立体的な姿を展示するのが難しい楽器です。ひとつひとつの楽器をマネキン人形に持たせればかなり格好いい状態で展示できるのですが、人形を何十体も用意するのはなかなか大変。柱を立てて管を固定する方法もありますが、ひとつとして同じ楽器はないので、柱の製作がこれまた大変。そこで今回は知恵を絞った挙句、操り人形のように、楽器の各部分を吊り糸で吊るすという方式を採用しました。これなら、糸を引っ張ったりゆるめたりして長さを変えれば自由自在に管の向きや位置を変えられます。さすがに袋を膨らませることだけはでき

ませんでした。何とか袋が膨らんだ状態で展示する方法を見つけるのが今後の課題です。

展示は最も有名なバグパイプの代名詞とも言えるスコットランドのハイランド・バグパイプをはじめ、最も複雑なパイプと言われるアイルランドのイーリアンパイプス、色鮮やかなスペインのガイタ・ガレガ、パイプの中で唯一貴族社会とクラシック音楽で使われたフランスのミュゼット、メロディ管（チャンター管）とドローン管（同じ音を鳴らし続ける管）がまとまって出ているイタリアのザンポーニャ、山羊の頭部の彫刻が付いたドイツのボック、その他トルコ、クロアチア、ウクライナ、ポーランドなどから総計41点が展示されました。そのうち37点は島根県松江市在住のバグパイプ・コレクター楢康治さんのコレクションです。

皮袋は美しい布で覆っているものもあれば、毛が付いたままのもの、毛のないものなど様々です。中には管がついているところがもともとは頭や足だったとはっきりわかるものもあります。また空気を口で吹き込むタイプもあれば、ふいごで送り込むものもあります。見学された方は、バグパイプと一言で言っても実に様々なタイプがあることに驚いていました。

イベント部門は8日（金）～10日（日）の3日間にわたって開催されました。夜のイブニングサロンコンサートは、会場の天空ホールの客席数が100席程度と少ないため、2日に分けて開催しました。まず8日は午後7時から「バグパイプ、その多彩な仲間たち」と題して世界のバグパイプの紹介。杉山憲司さんによるバグパイプの基本構造のレクチャーの後12種類のバグパイプを12人のパイパーが演奏しました。翌9日は午後6時から「バグパイプの歴史と文化～ダンス



ガイタ・ガレガ



楢康治さん



製作家ブース



蘭田徹さんによるレクチャー



ガイダ、ガドゥルカ、ブルガリアンダンス



最後は客席もダンス

を交えて」と題して、8日の予備知識を基に、近藤治夫さんによるバグパイプの歴史の解説のあと、11種類のバグパイプを12人のパイパーが演奏。ルネサンスダンスやバロックダンス、ブルガリアンダンス、アイリッシュダンス、ハイランドダンス(スコティッシュダンス)も交えて楽しいステージとなりました。最後はすべてのバグパイプの合奏でアメイジング・グレイス。また9日と10日の昼間の開館中は、天空ホールにて世界のバグパイプのリレー式ミニコンサート。のべ45人が登場され、電子バグパイプやハーディ・ガーディなど珍しい楽器も紹介されました。そして、今回の展示楽器を貸して下さったバグパイプコレクターの楢康治さんもはるばる島根県からお越しくださいました。楢さんはステージに登場し、バグパイプ収集の裏話・苦労話を披露され、客席からは笑いと、感動のため息が聞こえました。

さらに9日と10日は、ドイツ在住の蘭田徹さん、札幌の中津井眞さん、東京の近藤治夫さんら3人の日本人バグパイプ製作家がブースを出されて、バグパイプの紹介やお客さんからの質問に答えたり、時間を決めて体験演奏ができるワークショップを開催したりと、盛りだくさんなプログラムでした。

展示部門は楽器博物館が企画制作をしましたが、イベント部門は演奏者の近藤治夫さん、上尾直毅さん、山根篤さんによる実行委員会を組織して(委員長は近藤治夫さん)、博物館との共催で細かな企画をしていただきました。ありがとうございました。

また、出演して下さったすべての皆様に、心よりお礼申し上げます。またいつか第3回博覧会が開催されるとしたら、日本人パイパーのみならず外国人パイパーの参加も実現できるといいですね。

特別展 バグパイプ博覧会パート2

「風に歌う、風に響く～バグパイプの世界～」
会期：平成26年8月2日(土)～31日(日)
入場者：15,894人

イヴニングサロンコンサート

「バグパイプの世界パート1

「バグパイプ、その多彩な仲間たち」
日時：平成26年8月8日(金)19:00～20:45
会場：楽器博物館天空ホール 入場者：94人

「バグパイプの世界パート2

「バグパイプの歴史と文化～ダンスを交えて」
日時：平成26年8月9日(土)18:00～20:45
会場：楽器博物館天空ホール 入場者：125人

ミニコンサート

日時：平成26年8月9日(土)10:00～16:00
会場：楽器博物館天空ホール 入場者：678人

日時：平成26年8月10日(日)10:00～15:00
会場：楽器博物館天空ホール 入場者：786人

出演者：

KojiKojiMoheji (ガイタ・ガレガ)	荒木優子 (ヴァイオリン)
大野慎矢 (ガイダ)	山口絢子 (アコーディオン)
小川満大 (ポーターパイプ)	金子鉄心 (イリアンパイプス)
堀隆雄 (ドゥーデルザック)	横田誠三 (ガイタ・ガレガ)
蘭田徹 (ボック、セックピーパ)	山根京子 (パーカッション)
山根篤・杉山憲司・岩井一義 (ハイランドバグパイプ)	中津井眞 (イリアンパイプス)
原口トヨアキ (ノーザンブリアン・スモールパイプス)	深江健一 (アイリッシュブズーキ)
近藤治夫 (コルヌミュージルネサンスバグパイプ)	Rochwell Pipers (ハイランド・バグパイプ)
内野貴文・野口明生 (イリアンパイプス)	高澤雅史 (電子バグパイプ)
上尾直毅 (バロックミュゼット)	アンサンブル・コルヌミュージルネサンスバグパイプ
牧野晴美 (ハイランドダンス)	ヨルダン・マルコフ (ガドゥルカ)
小西高之 (アイリッシュダンス)	山本篤 (イリアンパイプス)
赤岩航・赤岩忍 (ブルガリアンダンス)	山本晴美 (コンサーティーナ)
服部雅好 (ルネサンスバロックダンス)	堀真理子・大島夏生 (ハーディ・ガーディ)
千代紙このか (電子バグパイプ)	Highland Pipers (ハイランド・バグパイプ、パーカッション)
宇多京子 (バロックミュゼット)	楢康治 (いろいろなバグパイプ)

楽器ワンポイント講座 その4

「こすって鳴らす楽器」

こすって鳴らす楽器というとどんなものを想像しますか？おそらく、ヴァイオリンや馬頭琴のように弦をこすって鳴らす楽器を想像される方が多いのではないのでしょうか。ところが、弦以外のものをこすって鳴らす楽器もあるんですよ。

まずはベネズエラの「フルコ」とアフリカの「摩擦太鼓」。太鼓なので皮が張ってありますが、叩かずに、棒を手や布でこすって音を出します。次にヨーロッパの「ネイル・ヴァイオリン」。丸い胴体の縁をなぞるように金属の棒がつけられています。この棒をヴァイオリンの弓でこすって音を出す楽器です。そして、韓国の雅楽で使われる「オ」という楽器。虎の背中中のデコボコしたところを専用のバチでこすって音を出します。

今回紹介した楽器は全て常設展にて展示をしていますので、是非探してみてください。

フルコ (ベネズエラ)



湿らせた布でこすって音を出します。意外と低い音がしました。

摩擦太鼓 (アフリカ)



中は空洞です。太鼓の中の棒を手でこすって鳴らします。

言葉では表現しにくい音でした... 強いて表現すると「ゲググッ!」という感じです。

ネイル・ヴァイオリン (ヨーロッパ)



持ってみると結構重たいです。弓でこすると澄んだ音色がします。



後ろには取っ手がついています。

オ (韓国)



バチでこすると「ジャーッ!」と鳴ります。

博物館日誌

- 8/2 (土) ~ 8/31 (日) 特別展 バグパイプ博覧会パート2
「風に歌う、風に響く〜バグパイプの世界〜」 入場者: 15,894人
- 8/8 (金) イブニングサロンコンサート
「バグパイプの世界パート1 バグパイプ、その多彩な仲間たち」
19:00 天空ホール 出演: 近藤治夫、山根篤、上尾直毅ほか
入場者: 94人
- 8/9 (土) イブニングサロンコンサート
「バグパイプの世界パート2
バグパイプの歴史と文化〜ダンスを交えて」
18:00 天空ホール 出演: 近藤治夫、山根篤、上尾直毅ほか
入場者: 125人
ミニコンサート「バグパイプ」 10:00 ~ 16:00 天空ホール
出演: 近藤治夫、山根篤、上尾直毅ほか 入場者: 678人
- 8/10 (日) ミニコンサート「バグパイプ」 10:00 ~ 15:00 天空ホール
出演: 近藤治夫、山根篤ほか 入場者: 786人
- 8/14 (木) ミュージアムサロン「アングルンをひこう!」
14:00、15:30 天空ホール
出演: 当館職員 (桐畑奈央、前田梨紗) 入場者: 170人
- 8/15 (金) ミュージアムサロン「チェンパロ」 15:30 第3展示室
出演: キアラ・カッターニ 入場者: 158人
- 8/16 (土) ミュージアムサロン「クラリネットアンサンブル」
14:00、15:30 天空ホール
出演: 浜松クラリネット・クワイアー 入場者: 188人
- 8/17 (日) ミュージアムサロン「オカリナ」
14:00、15:30 天空ホール
出演: 音心 (えんじろう、亮子) 入場者: 128人
- 8/21 (木) 県民の日 無料入館日 入館者: 733人
- 8/24 (日) ミュージアムサロン「アングルンをひこう!」
14:00、15:30 天空ホール
出演: 当館職員 (桐畑奈央、前田梨紗) 入場者: 125人
- 8/26 (火) ミュージアムサロン「アングルンをひこう!」
14:00、15:30 天空ホール
出演: 当館職員 (桐畑奈央、前田梨紗) 入場者: 67人
- 8/29 (金) ワークショップ「インドネシア ジャワ島のガムラン入門」
18:30 楽器博物館展示室
講師: ハナジョス (ローフィット・イブラヒム、佐々木宏実、西岡美緒)
参加者: 20人
- 8/30 (土) ワークショップ「インドネシアのジャワ舞踊〜入門編〜」
9:30 研修交流センター 講師: 西岡美緒 参加者: 15人
- 8/30 (土) ワークショップ「インドネシアの影絵人形 ワヤンを作ろう!」
13:30 研修交流センター
講師: ハナジョス (ローフィット・イブラヒム、佐々木宏実)
参加者: 16組 33人
- 8/31 (日) ミュージアムサロン「サクソフォンアンサンブル」
14:00、15:30 天空ホール
出演: 浜松サクソフォンクラブ 入場者: 132人

これからの催し物

- 展示室ガイドツアー 毎日曜日 展示品の解説
※催し物により変更もあります
- ギャラリートーク 毎日数回
展示品の解説を行います
- ワークショップ
「モンゴルの喉歌ホーミー入門」
9/21 (日) 10:00 ~ 11:45 研修交流センター
講師: 福井則之
- イブニングサロンコンサート
「チェンパロに酔いしれる
〜国際古楽コンクール<山梨>2014 入賞者コンサート〜」
11/1 (土) 18:30 天空ホール 出演: 中川岳
「ライアーの響きに包まれる〜プラハからの贈り物〜」
11/8 (土) 18:00 天空ホール 出演: ヤン・ブラウンシュタイン
「ガムラン・アングルン〜パリのもうひとつのガムラン〜」
11/29 (土) 18:00 天空ホール 出演: 梅田英春、
静岡文化芸術大学バリ・ガムラングループ ミスアラ・チャンダ
「クリスマス・ジャズ〜愛する人を、想う夜〜」
12/10 (水) 19:00 天空ホール
出演: 鈴木麻美、藤森潤一、鈴木辰美、星合厚
- 講座「楽器の中の聖と俗」(全4回)
10/6 (月) 「太鼓が響くスリランカ① 夜祭ペラヘラの大行列」
10/20 (月) 「太鼓が響くスリランカ② 呪術の太鼓」
11/10 (月) 「ラッパの古今① 東洋編」
11/17 (月) 「ラッパの古今② 西洋編」
講師: 西岡信雄 いずれも 19:00 ~ 20:30 展示室
- ミュージアムサロン 14:00 & 15:30 (天空ホール)
9/7 (日) 「金管アンサンブル」
出演: ハママツブラスアンサンブル
9/14 (日) 「古楽アンサンブルの楽しみ
〜様々なリコーダー作品〜」
出演: 梶原弘子、萩野伊都子、当館職員
9/15 (月) 「親指ピアノ」 出演: ロビン・ロイド

浜松市楽器博物館だより
平成26年9月5日発行 No. 92
編集 浜松市楽器博物館
〒430-7790 浜松市中区中央3-9-1
TEL 053-451-1128 FAX 053-451-1129
E-MAIL wakuwaku@gakkihaku.jp
URL http://www.gakkihaku.jp/